

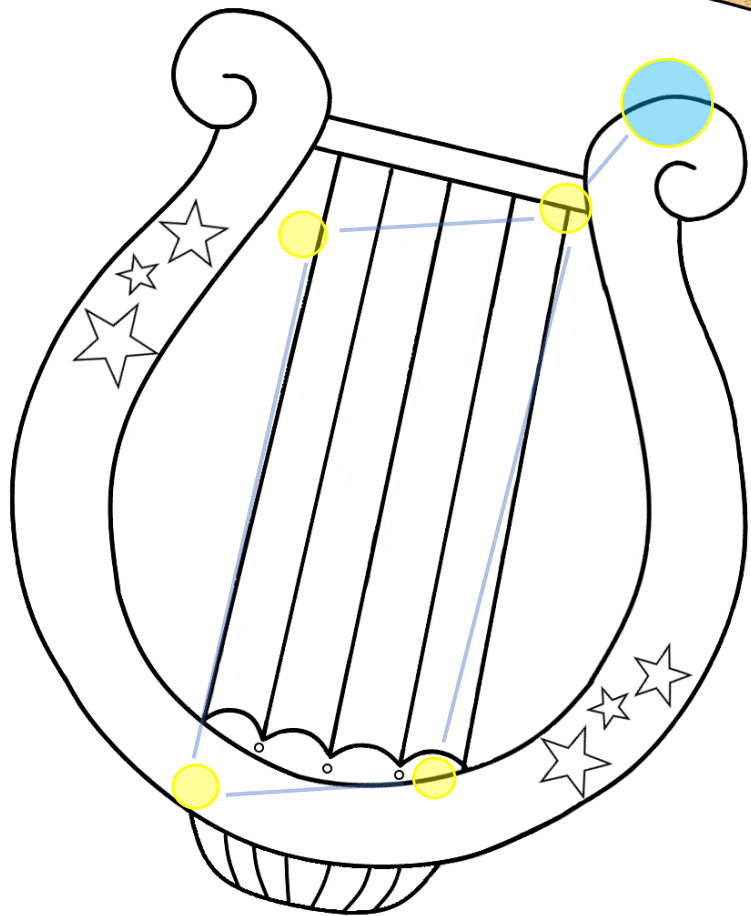
夏の星座 こと座



星座絵に色を塗ってね！



こと座のおはなし (ギリシャ神話)



こと座は、伝令の神ヘルメスが亀のこうらから作ったたて琴とされています。
太陽神アポロンの息子オルフェウスは、父が牛と引きかえにゆずり受けたそのたて琴を
さずかりました。

オルフェウスは琴の名人となり、妻エウリュディケと仲良く暮らしていました。

ある日、エウリュディケは毒蛇に噛まれて死んでしまいます。

オルフェウスは悲しみ、死者の国へ行き、死者の国の王ハデスに「妻を返してほしい」と
熱心にお願ひしました。ハデスはその姿を見て、「エウリュディケを地上に連れて帰る
途中、決して後ろを振り向いてはいけない。」という条件を付けて、聞き入れました。

しかし、オルフェウスは帰る途中、あと少しで地上といったところで、妻が気になり、
後ろを振り返ってしまいました。その瞬間、エウリュディケはあっという間に死者の国へ
連れ戻されてしまいました。

その後は、オルフェウスはハデスにどんなに願っても聞き入れてもらえませんでした。

あわれに思った大神ゼウスは、そのたて琴を拾い星座にしたと言われています。

こと座の特徴①

七夕の織姫星で知られているベガがあるよ！

こと座の特徴②

ベガは夏の大三角を作る星のひとつなんだ。

こと座の特徴③

環状星雲と呼ばれる「惑星状星雲」があるよ。
※2600光年先にあるんだ。
※光の速さで1年かけて進む距離が1光年という。(約9兆4600万km)
2600光年は、光の速さで2600年かけて進む距離。(約9兆4600万km×2600年)

こと座の見つけ方

8月中旬夜8時頃、頭上で一番明るい星を見つけてみよう。
その青白い星が1等星ベガだよ。
その隣に暗い星でできた平行四辺形があれば間違いはないよ。